

この記事が掲載される時期は5月半ば頃なので、今回お伝えする手口が対策されて終息していることを願っておりますが、今回お伝えするのはART誘発を狙った電磁波ゴトです。

「瞬チカチカするとの情報もあるが
目視で発見難しい」

第一報が届いたのは3月末頃で、エレコの「赤ドン雅」が電磁波を使ってARTを誘発させるゴト被害に遭っているというものでした。スロットでの電磁波ゴトといえば、

古くはメイン基板へ強力な電磁波を照射して強制的に初期設定にする設定変更ゴトや、4号機の大火花では体感器のタイミングでスタートレバーセンサーに電磁波を照射して大当たりを狙う体感器電磁波ゴトがありました。過去の電磁波ゴト流行時には、電波感知器などのセンサーを設置して防護しながら遊技機を使用する店舗と、遊技機の稼働を止めて次回の入替対象機種として早急に設置を外す店舗に分かれました。

今回の電磁波ゴトに対しても、早々に稼働を止めた店舗も多数ありましたが、電波感知器を新たに

設置してゴトに警戒しながら営業している店舗も多いことと思われます。

4号機の大火花の電磁波ゴトは、発信アンテナを左手の平に隠し持つて狙った箇所近づけるといいう特徴的な挙動が見受けられました。が、今回の電磁波ゴトは電磁波を照射する際にゴト師に特別な挙動が無いというところがやっかいです。

電磁波を照射した際の遊技機の挙動として、筐体のランプ類や液晶がほんの一瞬チカチカする現象があったとの情報が入っております。

ですが、よほど注目していない限り、目視での発見は難しいとのことですが。

「赤ドン雅」の場合
ART終了時の
タイミングなど狙う

「赤ドン雅」で電磁波ゴトが行われるタイミングはいくつかあって、そのひとつがART抽選契機の一つである「ドンめぐりチャンス中」です。ドンめぐりチャンスの終了条件である田吾作（ハズレ役）図柄停止時に電磁波を照射することによってバグ状態にさせてハズレ役を無効にして、ドンめぐりチャンスを終了させないようにしてART抽選を継続させて、結果ARTに突入させるというものです。「赤ドン雅」で電磁波ゴトを行うもうひとつのタイミングは、ART終了時です。ART終了時に電磁波を照射することで、本来内部的にはART終了であるところを、液晶画面をART準備中モードに移行させ、結果ARTに再突入させるというものです。継続して電磁波を照射することで強制的に準備中モードとARTを永遠に

ゴトに勝つ 高石隆一

10

「赤ドン」から「ミリオン」へ 挙動変わらない電磁波ゴト



写真1 大花火で使用された電磁波発信機



写真2 電磁波発信機を身につけている様子



写真3 赤ドン エラー履歴 通常画面

見が難しいというところでは、ゴト師が使用している電磁波発信機一式は、かなり強力な電磁波を放射させるために、バッテリーを含めとても大掛かりな器具であり、衣服内にゴト器具を装着し隠し持っていたが、その格好自体にかなりの違和感があつて、ゴトの発見に至った事例もあります。しかし、必ずしもこのような間の抜けたゴト師ばかりではありません。過去のゴト手口がそうであったように、これから夏に向かってドンと薄着になって行きますが、ゴト器具も薄着に対応して、確実にゴト器具が進化して、小型化、軽量化が進んでいくと想定しておかなければなりません。

挙動などの発見ポイントが少ないこのART誘発電磁波ゴトですが、このゴト被害に遭った場合、電磁波を照射してバグを起こす際にCOMエラーが発生するので、エラー情報履歴のチェックで、通常遊技中にほとんど発生することの無いCOMエラーが発生していれば、ゴト被害に遭った可能性が高いといえます。実際にART誘発電磁波ゴトの被害に遭った台のエラー情報履歴には、短時間に数

ループさせて、その結果、上乗せ特化型ART「祇園モード」への突入チャンスが増えることとなります。もし祇園モードに入られてしまった場合には、更なる出玉を窃取されることになり、ゴト被害は甚大なものになってしまいます。

セルゴトと違い

ART終了時ごとに照射する必要がある

前号でお伝えしたART誘発のセルゴトとの大きな違いは、今回の電磁波ゴトは一度に複数のARTセット数を稼げるものではなく、1セット50ゲームのARTを強制

的に継続させるものであり、ARTを継続させることによって祇園モード突入や、その他のART複数獲得契機にて多数のARTセット数を獲得することを目的としており、複数のARTセット数が貯まるまでは、ART終了の都度、電磁波を照射するというゴト行為を繰り返さなければならぬというところからです。

ART誘発のセルゴトの場合、最初にセルなどのゴト道具を持った実行犯が遊技機へゴトを仕掛けた後、実行犯はすぐにお店から退店し、ゴトでセットされたARTは打ち子に代打ちさせることにより、捕まるリスクを少なくしてい

ましたが、今回の電磁波ゴトの場合、ART終了の都度、電磁波を照射するというゴト行為を繰り返さなければならぬというので、長時間にわたり電磁波発信機一式を身につけていることが予想されます。警察も電磁波発信機という証拠をゴト師が身につけていることで、積極的に動いてくれる可能性の期待が持てます。

挙動ではダメでもCOMエラーの有効

ただ、そこで問題になるのが、不審な挙動がほとんどないので発

見が難しいというところでは、ゴト師が使用している電磁波発信機一式は、かなり強力な電磁波を放射させるために、バッテリーを含めとても大掛かりな器具であり、衣服内にゴト器具を装着し隠し持っていたが、その格好自体にかなりの違和感があつて、ゴトの発見に至った事例もあります。しかし、必ずしもこのような間の抜けたゴト師ばかりではありません。過去のゴト手口がそうであったように、これから夏に向かってドンと薄着になって行きますが、ゴト器具も薄着に対応して、確実にゴト器具が進化して、小型化、軽量化が進んでいくと想定しておかなければなりません。

挙動などの発見ポイントが少ないこのART誘発電磁波ゴトですが、このゴト被害に遭った場合、電磁波を照射してバグを起こす際にCOMエラーが発生するので、エラー情報履歴のチェックで、通常遊技中にほとんど発生することの無いCOMエラーが発生していれば、ゴト被害に遭った可能性が高いといえます。実際にART誘発電磁波ゴトの被害に遭った台のエラー情報履歴には、短時間に数



写真5 エラー情報確認時のプレート貼付例



写真6 ミリオンゴッド セル挿入箇所



材質には注意して作成していただきたいです。また、エラー情報履歴などの確認中に、プレートが外れることのないように、

十回から百回以上のCOMエラーの発生履歴が残っていました。

エラー情報履歴 チェックする場合 営業中は注意必要

このような状況から、怪しい出方や見慣れない遊技客が多量にメダルを出しているケースで、ゴト被害発見の方法として営業中にエラー情報履歴の確認を実施している店舗も出てきております。しかし、このような営業中のエラー情報履歴のチェックを行う場合には、注意しなければならぬ大変重要なことがあります。

エラー情報履歴を確認するためには、設定キーをまわす必要があ

り、例えばエラー情報履歴を見るために設定キーをまわしたとしても、設定キーをまわした瞬間から設定が表示されてしまうということですが、営業中の設定表示や設定変更は、法令で禁止されている「著しく射幸心をそそる行為」に該当してしまふ可能性が非常に高いので、もしも営業中にエラー情報履歴を参照する場合には、周囲のお客様に対して設定表示を確実に隠して見えないようにするということを徹底してトラブルが無いようにしていただきたいと思っております。

まずは、ゴト師に対しての牽制と一般のお客様に対してのアピールを兼ねてPOPなどで、「全国的にゴト被害が頻発しているため、不審な人物を発見した際には弊社

スタッフまでご連絡ください。また、安全確認のため、エラー情報履歴などを確認させていただいております。あらかじめご了承下さい！」などという内容で、各台に掲示して周知させた上で、エラー情報履歴などの確認をすることが望ましいと思っております。

そして、実際にエラー情報履歴を確認する際には、設定キーをまわす前に、設定表示部を隠すプレートを作成してからおこなうことをお勧めいたします。設定表示部を隠すプレートの表側には、エラー情報履歴確認中などと記して周囲のお客様にあくまでエラー情報履歴の確認であることをアピールしていただきます。設定表示が透けて見えないように、プレートに使う

しつかりと両面テープなどで固定する必要があります。横着をして、設定表示部を手で隠して作業していて、なにかのはずみで設定表示部が周りのお客様に見えてしまつたなどというケアレスミスにより行政処分を受けてしまうことのないように注意してください。

4月中旬に被害拡大 ミリオンゴッドは リプレイを無理矢理

この原稿を書いている最中（4月の中旬）に、恐れていたことが情報となって入ってきました。それは、ART誘発電磁波ゴトの被害機種種の拡大です。エレコ「赤ドン雅」に続いて、ミズホ「ミリオンゴッド」神々の系譜でも電磁波によるART誘発ゴト被害が発生しているというものでした。

「ミリオンゴッド」神々の系譜で電磁波ゴトが行われるタイミングは、自力でリプレイを2回引いた後に行われます。3回目、4回目リプレイではなかった場合に第三ボタンを押したままの状態電磁波を照射し、内部的にバグを起こしてリプレイが外れたこ

と無効にして、リプレイが揃うまでこれを繰り返して、結果的に4連続リプレイを完成させてARTに突入させるとのことでした。

同じユニバーサル系のスロットであっても、「ミリオンゴッド」神々の系譜」ではゴト被害に遭った場合に「COMエラー」ではなく、「POWER DOWN」という履歴がエラー情報履歴及び監視履歴に残っていました。「POWER DOWN/POWER UP」

に関して、ホール側による電源入り切りでも履歴として残りますので、通常であれば閉店後、閉店前に「POWER DOWN/POWER UP」の履歴が残っているはずですが、ゴト被害に遭った場合、営業時間中にホール側に身に覚えのない時間帯に集中して数十回もの「POWER DOWN/POWER UP」の履歴が残されていたとのことでした。「赤ドン雅」のゴト事例と同様に、エラー情報履歴を営業中に確認する際には設定表示を公開することの無いように注意して実施し

番号	状態	日時
8	POWER DOWN	2012/04/13 14:55:29
9	POWER UP	2012/04/13 14:08:09
10	POWER DOWN	2012/04/13 14:08:02
11	POWER UP	2012/04/13 13:56:53
12	POWER DOWN	2012/04/13 13:56:47
13	POWER UP	2012/04/13 13:55:39
14	POWER DOWN	2012/04/13 13:55:31
15	POWER UP	2012/04/13 13:55:09

写真7 ミリオンゴッド 被害台 エラー情報履歴

てください。

さらにミリオンには新セルゴト発生 精算ボタンに傷痕

そして、最後にお伝えするのがこの原稿の締め切り間に飛び込んできた情報になりますが、電磁波ゴトの被害情報に続いて「ミリオンゴッド」神々の系譜」の新たな手口による犯行と思われるセルゴト情報が入ってきましたのでお伝えいたします。

情報によると、「ミリオンゴッド」神々の系譜」においてART中にも関わらず、音の出ない台をホールスタッフが発見して、その台で遊技していた男へ声を掛けよ

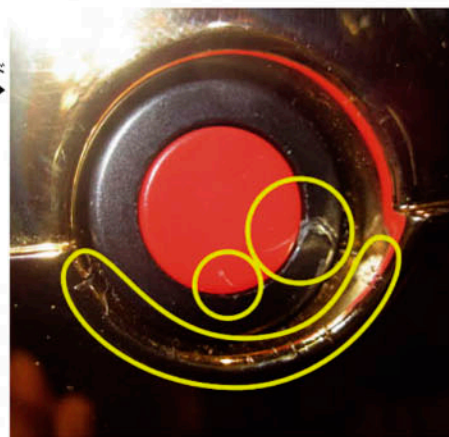


写真8 ミリオンゴッド 精算ボタン 傷▶

てきました。そのキャッチ行為を不審に思ったホールスタッフがインカム連絡を入れたところ、音の出ない台を遊技していた男とキャッチ役を含む8人位の男が一齐に退店して行ったそうです。

音の出ない台は2台あって、いずれも精算ボタンを取り外そうとしたような傷痕が残っていました。エラー情報履歴をチェックしたところ、営業時間中に多数の「POWER DOWN/POWER UP」履歴が残されていました。

未確認情報として、精算ボタンを取り外してゴト器具を差し込み、同時に筐体上部の右側スピーカー周辺からもゴト器具を挿入するという手口があるとの情報も入っております。

この原稿の締め切りの段階では、いずれの情報も不確定な部分が多く、真相はわかっておりませんが、

うとしたところ、台の確認をさせないよう別の男がホールスタッフフヘキャッチ行為をし

同じ筐体であるミズホ「銀河英雄伝説」を含むユニバーサル系スロットを狙った過去のゴト手口では、精算ボタン（及び各種ボタン）を抜き取って犯行に及ぶ手口が多数確認されているため、今回の事例に関してゴトによるものである可能性が高いものと思われます。

スロットの電磁波ゴトに関して、大都「押忍！番長2」で「REエラー」というユニバーサル系スロットで言うところのCOMエラーと同様の不審なエラーが発生したとの不気味な情報も入っております。これ以上の被害が拡大することのないように願いながら、各ホールにおかれましては、ホームページなどインターネットのサイトからゴト被害対象機種の設置情報を削除することをオススメいたします！

■高石隆一 ■たかいしりゅういち 警備会社の指導員、セキユリティー会社を経て2003年、有限会社ジャパン・セキユリティー・サービスを設立し代表取締役。札幌方面遊技事業協同組合、札幌遊技業協同組合、札幌遊技業支配人会の顧問を務める。パチンコ産業のセミナー講師を数多く務める。北海道警察本部の捜査にも協力している。「一期一会」が座右の銘。